



松江市上水道施設概要図(昭和30年代)

敷設当初は、千本ダム（48m）－忌部浄水場－床几山配水池（28m）とそれぞれの海拔高度を生かしたサイホン式（自然流下）により市内に送水。後に、床几山より給水ポンプにより榎山配水池（65m）に送り、大橋、新大橋に架かる2本の水道管で橋北に配水した。